

茶道文化論

科目ナンバリング JLT-105
【Ⅲ】 選択 2単位

鬼頭 誠

1. 授業の概要(ねらい)

茶道は、日本の伝統的な生活文化・精神文化が総合的に様式化された人間交流の技(わざ)・術(すべ)です。日本人の食、建築、工芸、芸術、意匠、哲学、宗教、教養、学びの最高エッセンスが満載された世界です。「お茶は苦い」「正座がづらい」といった先入観から解放され、教養ある国際人となるための近道として、茶道の世界を体験する機会を提供します。座学を中心としつつ、実技的な稽古も併せて指南します。

2. 授業の到達目標

茶道文化の歴史的、哲学的、芸術的な基礎知識を修得する。
客としての茶道実践の基礎(動作)を身に着ける。

3. 成績評価の方法および基準

自由提出の感想文、研究・調査レポート、講義内での討論内容で50%、授業内試験に代わる課題レポート50%等により総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
岡倉天心著・桶谷秀昭訳 「茶の本」【英文収録】 講談社学術文庫
参考文献
堀内議司男 「男子の茶の湯ことはじめ」 原書房
川口葉子 「本のお茶」 角川文庫

5. 準備学修の内容

茶道に関連する教科書(岡倉天心著「茶の本」)、参考書を読み、毎回授業の該当箇所を予習する。講義内容の理解を促進する手段として、実技「茶道」(水曜3,4限 単位認定なし クラブ棟5階)の履修も推奨する。

6. その他履修上の注意事項

茶道未経験者の履修を勧めます。

7. 授業内容

- 【第1回】 第一章「人情の碗」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(畳にすわる)
- 【第2回】 茶碗を回すがお茶ですか 正座は1分でいいのでは 実技指導(お辞儀の作法)
- 【第3回】 第二章「茶の流派」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(居ずまい)
- 【第4回】 スローフードと気づき お茶の習俗 お茶と環境 実技指導(戸の開け閉め)
- 【第5回】 第三章「道教と禅道」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(歩き方)
- 【第6回】 日本人の心の底に潜むかんがらのみち 清めるとは 実技指導(扇子の使い方)
- 【第7回】 第四章「茶室」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(墨蹟を読む)
- 【第8回】 ブルーノ・タウト著「日本美の再発見」(岩波新書)から 広間と小間 実技指導(定家様をまねぶ)
- 【第9回】 第五章「芸術鑑賞」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(茶碗をめでる)
- 【第10回】 音への感性 光への感性 香りへの感性 実技指導(お菓子をいただく)
- 【第11回】 第六章「(茶道における)花」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(花をめでる)
- 【第12回】 会席と宴会 永昌庵における実技指導(お茶をいただく)＝受講生の数により予定変更の可能性があります
- 【第13回】 第七章「茶の宗匠たち」(岡倉天心著「茶の本」から)を読み解く 実技指導(お礼)
- 【第14回】 茶の流派(珠光、紹鴎、利休、織部、遠州……) 実技指導(流儀ごとの作法のいろいろ)
- 【第15回】 まとめと授業内試験に代わるレポート(複数課題の中からテーマを1つ選ぶ)